

令和2年3月4日

令和元年度第6回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催

(一社)日本物流団体連合会(会長:渡邊健二)は、2月28日(金)、今年度第六回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。これは、物流事業の海外進出に関する課題について官民連携して検討する会合で、国土交通省や会員企業から23人が参加した。

会合には、国土交通省国土交通政策研究所の佐々木良所長他も出席した。佐々木所長の挨拶の後、前川健研究調整官から、本年度実施した国内外での物流人材教育に関する調査結果の速報と併せて、今後の検討の方向性や調査研究の必要性について説明がなされた。

次に、事務局より、昨年10月に実施したインド南部及び北東部の物流事情実態調査報告書ドラフトの説明を行った。当連合会では、13億人の人口を抱えて消費大国として注目されるとともに、我が国からも製造業を中心として営業・製造拠点の進出が進むインドについて、昨年度の同国北部及び西部の調査に続き、本年度は同国南部及び北東部の調査を行った。同最終報告書のとりまとめは3月下旬を予定している。なお、来年度は、インド調査の続行に加えて、新たな進出先として注目を集めるスリランカも調査対象国とする案を事務局より説明した。

本ワーキングチームの活動は、来年度も当連合会の重要な業務と位置づけ、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めることとし、次回開催は5月を予定している。



会合全景

以上

事務局 中川